

平成28年度事業報告書

I 概況

1. 入館者

平成28年度は入館者数増と認知度を高めるため、様々な展示・イベントを開催いたしました。特に、企画展「明治神宮野球場90年の歩み」は多くの大学野球ファンが来館されました。また、熊本応援企画「川上哲治特別展」はプロ野球のオールドファンから高い評価をいただきました。さらに、当館初の試みである小学生を対象とした夏休みの「野球で自由研究！コンテスト」は全国のみならず海外からも応募をいただくなど、幅広い年齢層に対し、野球の振興・普及に努めました。また、本年3月のWBC開催に際しては、前回大会同様、日本代表チームの多大なご協力により、ウイニングボールや関連資料をタイムリーに収集・展示を行ったことで、入館者数は前年比3.1%増の87,990人(前年比+2,684人)となりました。

平成29年度は、昨年苦戦した夏休み期間に、新たに小学生を対象とした積極的な案内を企画し動員を図るとともに、引き続き各種イベント策を講じ、また東京ドームシティの営業施設と連携を密にし、入館者増を図ってまいります。

2. 維持会員

維持会員は法人58社(前年比、2社増)、個人会員122人(同、10人増)、ジュニア会員4人(同、1人増)となりました。積極的な加入活動と会員特典の見直しが奏功し、全ての種別で前年を上回りました。今後も、さらに加入活動の促進と会員特典などの見直しを図り、ファン拡大に努めてまいります。

3. 野球殿堂

特別表彰の故・松本瀧蔵氏と山中正竹氏の表彰式を、5月28日(土)に明治神宮球場で行われた東京六大学野球早慶戦の試合開始前に行いました。熊崎理事長から、松本氏のご長男満郎氏と山中氏にレリーフのレプリカが贈呈され、続いて明治大学、柳裕也主将から満郎氏に、法政大学、森川大樹主将から山中氏に花束が贈呈されました。

また、競技者表彰の斎藤雅樹氏、工藤公康氏、故・榎本喜八氏の表彰式を、7月15日(金)に福岡ヤフオク！ドームで開催されたオールスター第1戦の試合開始前に行いました。熊崎理事長から斎藤氏、工藤氏、榎本氏のご長男喜栄氏へレリーフのレプリカ贈呈に続き、三氏にゆかりのある王貞治氏から各々に花束が贈呈されました。

平成29年の殿堂入りは、第56回特別表彰委員会から、故・郷司裕氏と故・鈴木美嶺氏、第57回競技者表彰委員会から伊東勤氏、星野仙一氏、平松政次氏が選出されました。これにより、殿堂入り顕彰者は競技者表彰92名、特別表彰105名、計197名となりました。

4. 普及・広報活動

野球振興につながる事案に積極的に対応し、また当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に積極的に協力して広報に努めました。全国野球振興会(プロ野球OBクラブ)主催の全国少年野球教室にも、当館のパンフレットを13,000部提供するなど、開催に協力いたしました。

5. 資料収集

博物館の基礎ともなる展示資料及び図書の収集を積極的に行いました。ご協力いただいた皆様には深く感謝いたします。

①収集資料:409点(前年2,492点)

②収集図書：1,359冊（前年1,291冊）

尚、資料収集に際し、将来に何を残すかを組織的かつ円滑に行うために、「収集資料検討委員会」（原則、毎月1回開催）において協議し決定しております。

6. 館外活動

北海道から九州まで、球界関係、地方公共団体や類縁機関などが主催の展覧会やイベントに際し、資料の貸出に加え、企画の相談にも対応するなど積極的に協力し、野球振興に努めました。読売ジャイアンツ「ジャイアンツミュージアム」、北海道日本ハムファイターズ「ワールドフェスタ」、世田谷美術館、岩手県立博物館、伊勢市教育委員会等に対し、合計15件の貸出を行いました。

7. その他

①昨年10月に「公益財団法人」移行後、初めて内閣府の検査が入りました。検査の結果、指摘事項はありませんでしたが、課題、改善点等の提案がありましたので、新たな規程の制定、既設規程の見直し等の整備を行い、制度に則ったさらなる内部体制の強化を図ってまいります。

②「在り方検討委員会」から提言された課題を達成するため、新たに「野球殿堂博物館リニューアル検討委員会」を設立し、昨年12月に第1回会合、本年3月に第2回会合を開催いたしました。今後は、委員会で検討された課題達成のための諸施策を理事会、評議員会で諮り、着実に課題の遂行を目指してまいります。